

報道資料提供（令和2年9月9日提供）	
担当課	福祉保健部健康局医務課
担当者	公立大学法人室 仲・末松
電話	073-441-2085(直通) / 内線 2085

県立医科大学の令和元事業年度業務実績に関する評価結果について

和歌山県公立大学法人評価委員会（知事の附属機関、委員長 辻 省次）が行った、公立大学法人和歌山県立医科大学に係る「令和元事業年度の業務実績に関する評価結果」を地方独立行政法人法に基づき公表します。

1 全体評価

第3期中期計画（平成30年度～令和5年度）の達成に向け、全体的には概ね順調に進んでいる。

＜年度計画記載161項目の実施状況＞

- 9項目 … 「年度計画を上回って実施している」
- 147項目 … 「年度計画を十分に実施している」
- 5項目 … 「年度計画を十分には実施していない」

2 主な評価及び指摘

＜評価事項＞

- 教育 ○ 新卒者の医師・看護師等の国家試験の合格率が100%を達成した。
- 診療 ○ 附属病院本院に、全国的にも稀少な膵がんに特化した「膵がんセンター」を設置し、膵がん診療を推進する体制を整えた。
- 紀北分院に、「認知症疾患医療センター」を設置するとともに、脊椎ケア・眼科（水晶体再建術）など、特徴ある先進的医療を実施する体制を整えた。
- 収益増加・経費削減の取組を強化した結果、令和元年度決算において、附属病院本院の業務損益が、経常黒字（約7億円）を確保することができた。
- 研究 ○ 先端医学研究所に、がん・感染症・循環器疾患などの予防・診断・原因解明を行う部門として「分子病態解析研究部」を設置し、研究実施体制の整備を進めた。
- 地域貢献 ○ 汎用画像診断装置用プログラム「Join」の本格運用を開始し、救急患者受入の迅速化、円滑化を実現する体制を一層強化した。
- 地域医療機関と連携し、和歌山県全体の脳卒中診療の充実・発展を図るため「脳卒中センター」を設置した。

＜指摘事項＞

- 教育 ● 医学部基礎系の大学院入学者について、依然として増加する傾向がみられない。
- 研究 ● 研究活動の活発な講座が限定されており、全学的な広がり欠ける点が課題である。
- 外部資金を獲得するためセミナー等を開催し、科学研究費獲得のポイント等について、研究活動活性化委員会委員等が指導を行ったが大きな成果は得られていない。

【評価委員会】 （任期）令和2年4月1日～令和4年3月31日

氏名	役職等（◎委員長、敬称略）
◎ 辻 省次	国際医療福祉大学大学院・医学部教授 東京大学大学院医学系研究科分子神経学特任教授
川淵 孝一	東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授
坂本 すが	東京医療保健大学副学長 公益社団法人日本看護協会前会長
瀬戸 嗣郎	静岡県立こども病院名誉院長・参与 市立岸和田市民病院顧問
西野 仁雄	名古屋市立大学名誉教授 名古屋市立大学元学長
三木 義男	東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科教授 東京医科歯科大学難治疾患研究所教授